

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【公表番号】特表2013-514372(P2013-514372A)

【公表日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2012-544748(P2012-544748)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|---------|-----------|
| A 6 1 K | 45/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 48/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/10 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7088 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7105 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 38/00 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 15/113 | (2010.01) |

【F I】

| | | |
|---------|---------|---------|
| A 6 1 K | 45/00 | |
| A 6 1 K | 48/00 | |
| A 6 1 P | 9/10 | |
| A 6 1 P | 9/10 | 1 0 3 |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 1 1 |
| A 6 1 K | 31/7088 | |
| A 6 1 K | 31/7105 | |
| A 6 1 K | 37/02 | |
| C 1 2 N | 15/00 | Z N A G |

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

必要とする対象における心筋虚血を治療または予防する方法であって、前記対象の心臓細胞における表1および2に記載された1種以上のm i R N Aの発現または活性を調節することを含む方法。

【請求項2】

前記1種以上のm i R N Aが、m i R - 3 2 0、m i R - 1 9 9 a、m i R - 1 5 ファミリーメンバー、m i R - 2 1、m i R - 2 6 a、l e t - 7 b、m i R - 2 1 4、m i R - 1 0 a、m i R - 1 0 b、m i R - 5 7 4、m i R - 9 2 a、m i R - 4 9 9、m i R - 1 0 1 a、m i R - 1 0 1 b、m i R - 1 2 5 b、m i R - 1 2 6、m i R - 3 0 ファミリーメンバー、m i R - 1 4 3、m i R - 1 4 5、m i R - 1 8 5、m i R - 3 4 a、m i R - 1、m i R - 1 3 3、m i R - 2 1 0、およびm i R - 2 9 a ~ cからなる群から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記調節が、前記対象にm i R - 3 2 0、m i R - 1 9 9 a、m i R - 1 5 ファミリー

メンバー、m i R - 9 2 a、m i R - 2 1、m i R - 4 9 9、およびm i R - 3 0 ファミリーメンバーからなる群から選択される 1 種以上のm i R N A の阻害剤を投与することを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

1 種以上のm i R N A の前記阻害剤が、アンチセンスオリゴヌクレオチドまたはアンタゴm i r である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、前記 1 種以上のm i R N A の成熟配列と少なくとも部分的に相補的である配列を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、少なくとも 1 つの糖および / または骨格修飾を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、約 8 ~ 約 1 8 ヌクレオチド長である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記調節が、前記対象に m i R - 1 2 6、m i R - 1 4 3、m i R - 2 1 0、およびm i R - 2 9 a ~ c からなる群から選択される 1 種以上のm i R N A のアゴニストを投与することを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】

1 種以上のm i R N A の前記アゴニストが、前記 1 種以上のm i R N A の成熟配列を含むポリヌクレオチドである、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 1 0】

前記アゴニストが発現構築物から発現される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記阻害剤またはアゴニストが、静脈内投与、皮下投与、または心臓組織内への直接注射によって前記対象に投与される、請求項 3 または 8 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記阻害剤またはアゴニストが、経口、経皮、持続放出、制御放出、遅延放出、坐剤、カテーテル、または舌下投与によって前記対象に投与される、請求項 3 または 8 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記対象が冠動脈疾患を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記 1 種以上のm i R N A の発現または活性の調節後、心筋細胞の喪失が前記対象において軽減または抑制される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 5】

第 2 の心臓治療剤を投与することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記第 2 の心臓治療剤が、抗狭心症薬、遮断薬、イオノトロープ、利尿薬、A C E 阻害剤、2 型アンジオテンシンアンタゴニスト、エンドセリン受容体アンタゴニスト、H D A C 阻害剤、およびカルシウムチャネル遮断薬からなる群から選択される、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記対象がヒトである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 8】

必要とする対象における低酸素に応答した心筋細胞の喪失を予防または軽減する方法であって、m i R - 1 9 9 a、m i R - 3 2 0 の阻害剤、および / またはm i R - 2 1 0 のアゴニストを前記対象に投与することを含む方法。

【請求項 1 9】

前記 m i R - 1 9 9 a または m i R - 3 2 0 の阻害剤が、アンチセンスオリゴヌクレオチドまたはアンタゴ m i r である、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記 m i R - 2 1 0 のアゴニストが、m i R - 2 1 0 の成熟配列を含むポリヌクレオチドである、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記アゴニストが H I F 1 である、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記アゴニストが発現構築物から発現される、請求項 1 8 に記載の方法。